

# 畜水産業界の持続的発展 に向けた取り組み

おいしさのみなもと  
フィード・ワン株式会社

東証プライム 証券コード:2060





おいしさのみなもと  
**フィード・ワン株式会社**

■ 事業内容

配合飼料の製造・販売、畜水産物の仕入・販売・生産・加工等  
上記に付帯関連するその他事業  
(農場の経営指導、家畜診療施設の運営等)

飼料  
事業

畜産飼料、水産飼料、養蜂飼料の製造・販売



食品  
事業

畜水産物の仕入・生産・加工・販売





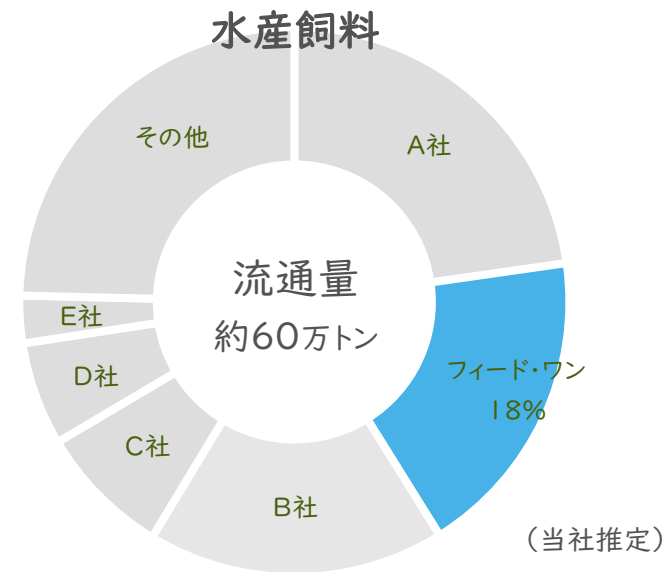
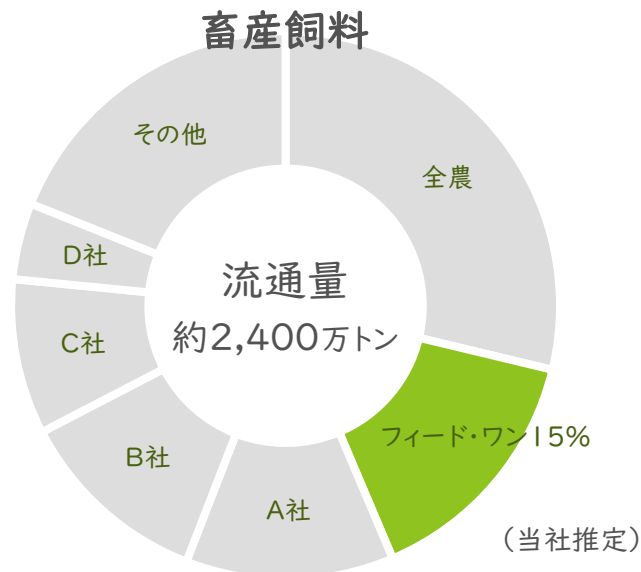
## ■ 売上高構成

売上高 3,079億円



(注) 構成比は連結調整前の数字で算出したもの

## ■ 業界シェア (販売数量ベース)



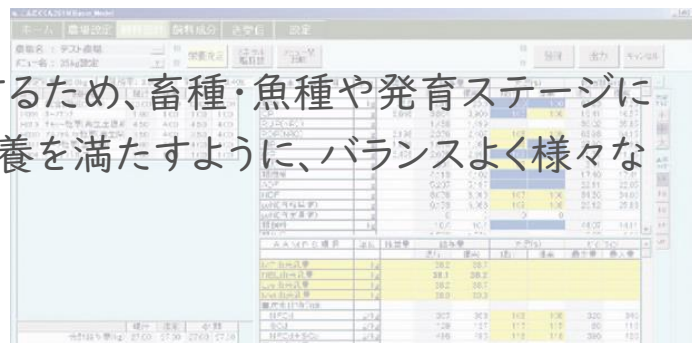
- **Mission** ——— Feedをはじめの一步として、畜水産業界の持続的発展に貢献し、食の未来を創造します。
- **Vision** ——— 食の安心と感動を届け続ける企業を目指します。
- **Values** ——— 常に顧客・消費者の目線でニーズ・課題を捉え、問題解決に取り組みます。安心安全な食の提供に向けて、コンプライアンス経営を徹底します。高い専門性を持ち、時代の変化を捉えて常にチャレンジする人材を育成します。「思いやりを持つこと」「Fairであること」「謙虚であること」を常として、社会の信頼に真摯に応えます。

- 「牛、豚、鶏、魚類」などの餌として、とうもろこしやマイロ、麦、ふすま、粕類など、飼料穀物や食品副産物をはじめとしたさまざまな原料を配合・加工してつくられる飼料
- 家畜や魚を『健康に効率良く育てる』ことや畜水産物の『差別化』が主な目的

## 健康に効率良く育てる

### ・ 多様な配合設計

短期間で飼育し出荷するため、畜種・魚種や発育ステージに応じて異なる必要な栄養を満たすように、バランスよく様々な原料を配合



| 原料名    | 配合率 (%) | 栄養成分  |
|--------|---------|-------|
| とうもろこし | 40.0    | 炭水化物  |
| 小麦     | 20.0    | 炭水化物  |
| 大豆     | 10.0    | タンパク質 |
| 魚粉     | 5.0     | タンパク質 |
| ミネラル   | 0.5     | ミネラル  |
| ビタミン   | 0.5     | ビタミン  |
| その他    | 23.5    | その他   |

### ・ 多様な形状

食べやすく、消化・吸収しやすいように畜種・魚種や発育ステージに応じて飼料のサイズや形状を調整



## 畜水産物の差別化に寄与する

配合飼料は設計内容によって肉・魚・卵などの畜水産物の味、見栄えに大きな影響を与えるため、用途に応じた調整が可能

- 例) ・サシの入った牛肉  
・赤みの強い黄身の卵  
・臭みが少ないブリ  
・赤色がきれいなマダイ など

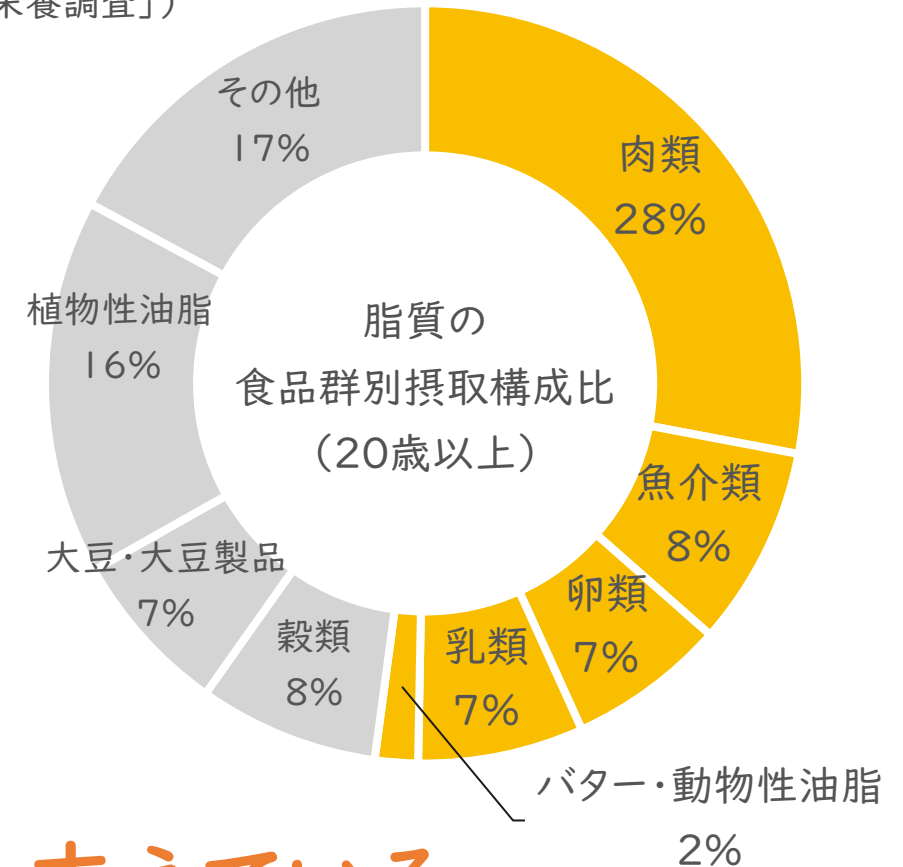
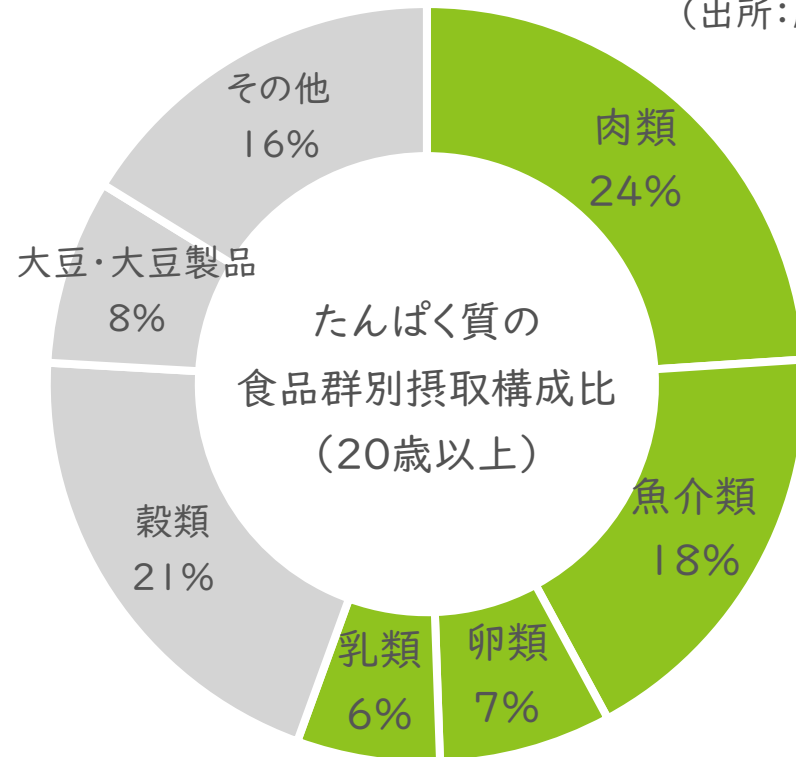


飼料は生産性向上など、長年にわたって  
畜水産業界の発展に大きく貢献してきた

## ■ 三大栄養素のうち、たんぱく質・脂質において、ともに5割以上を畜水産物から摂取

### 栄養素・食品群別摂取量に関する状況(2019年度)

(出所:厚生労働省「国民健康・栄養調査」)



飼料は人々の「食」を支えている



食料資源の有効活用  
(食品副産物・食品ロス)



低魚粉・無魚粉飼料の  
開発・販売



有機畜産物の生産支援



クロマグロの完全養殖



畜産業への新技術導入

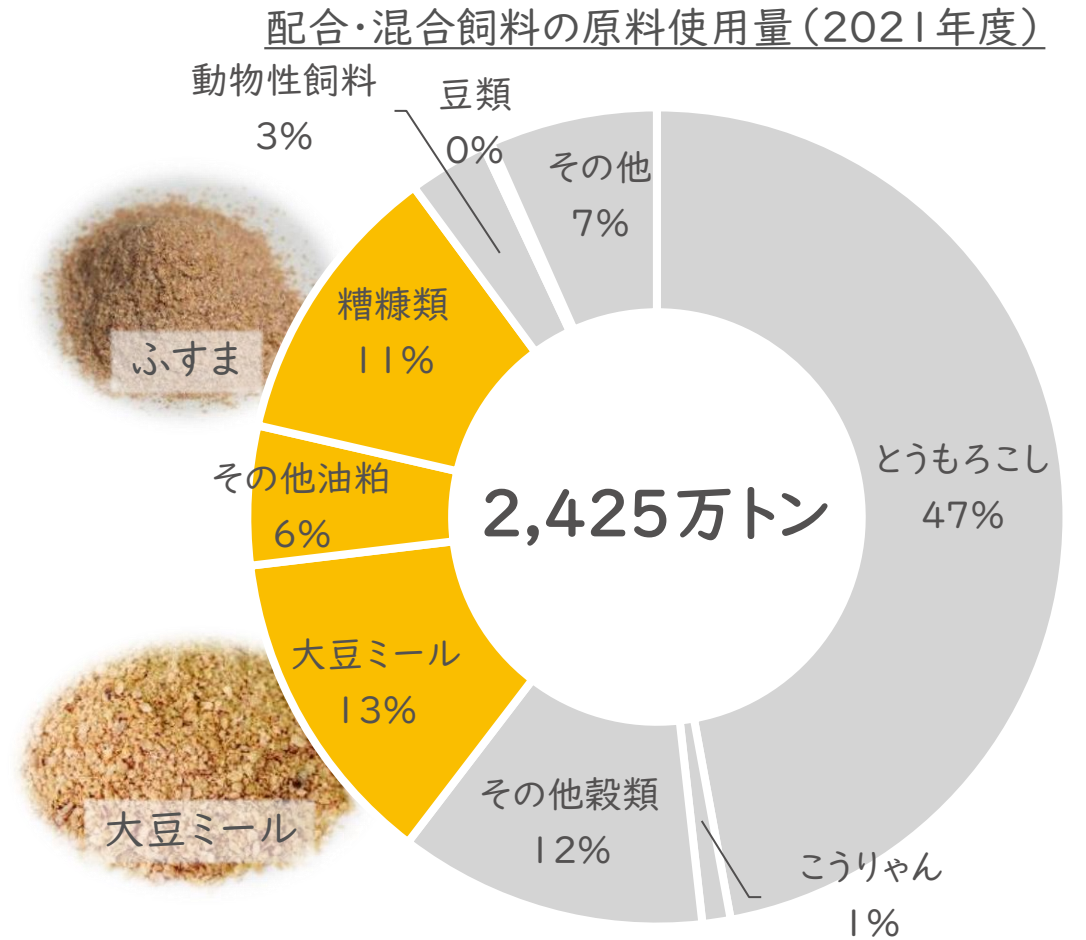
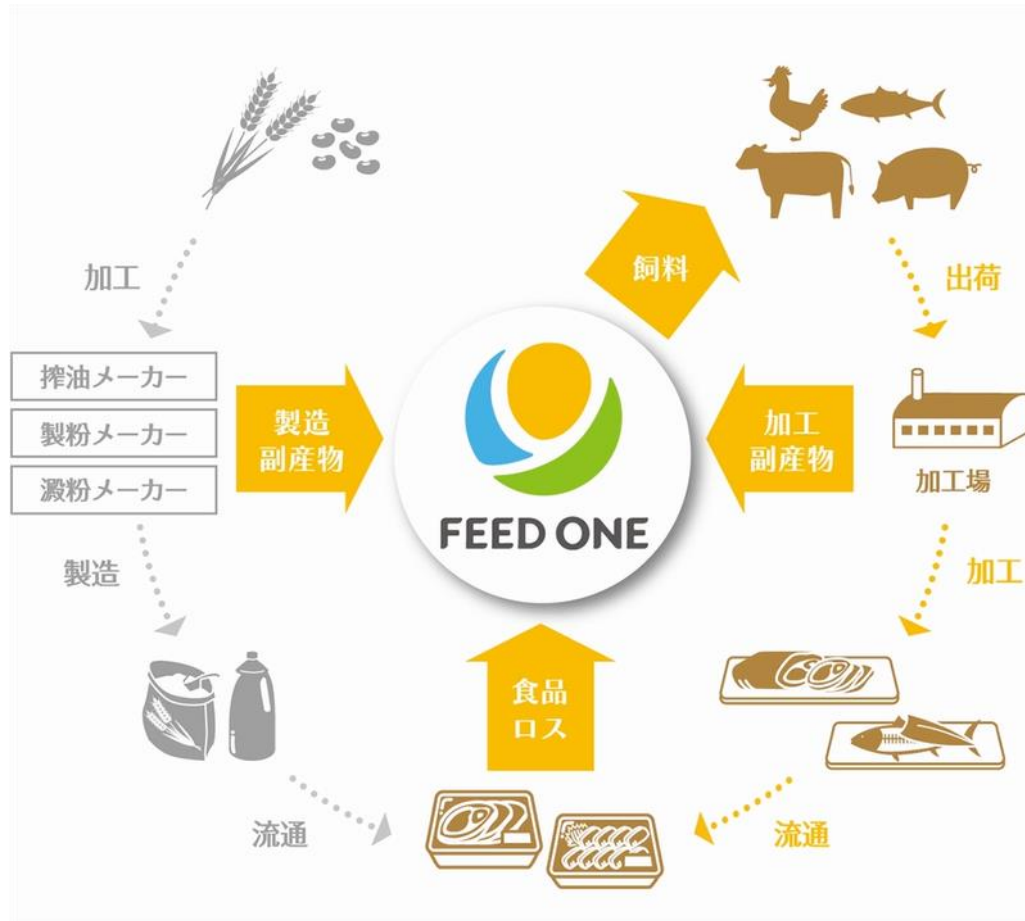


養蜂飼料の製造・販売



# 食料資源の有効活用（食品副産物・食品ロス）

- 食品製造・加工時に発生する副産物や食品ロスの有効活用による資源循環型社会への取り組み



(出所:農林水産省「飼料をめぐる情勢」)

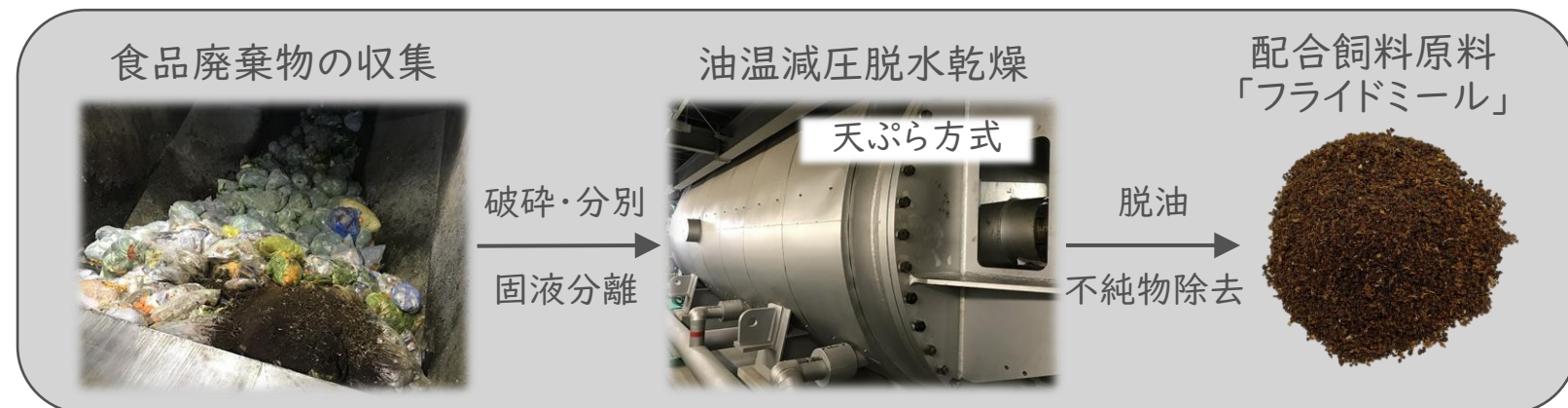
食料自給率の向上を図るうえで重要な取り組み

# 食料資源の有効活用（食品副産物・食品ロス）

（出所：農林水産省「食品廃棄物等の利用状況等（概念図）」※2019年度推計値）



※配合飼料原料製造工程（株アルフォの例）



# 食料資源の有効活用（食品副産物・食品ロス）

（出所：農林水産省「食品廃棄物等の利用状況等（概念図）」※2019年度推計値）



※配合飼料原料製造工程（株アルフォの例）





# 食品リサイクルループ事例(東京都)

- 食堂等から排出される事業系廃棄物を配合飼料原料にして飼料を製造
- その飼料を食べた鶏が鶏卵を生産、それを食堂等で提供する食材として利用





## ■ ゲノム解析による育種改良

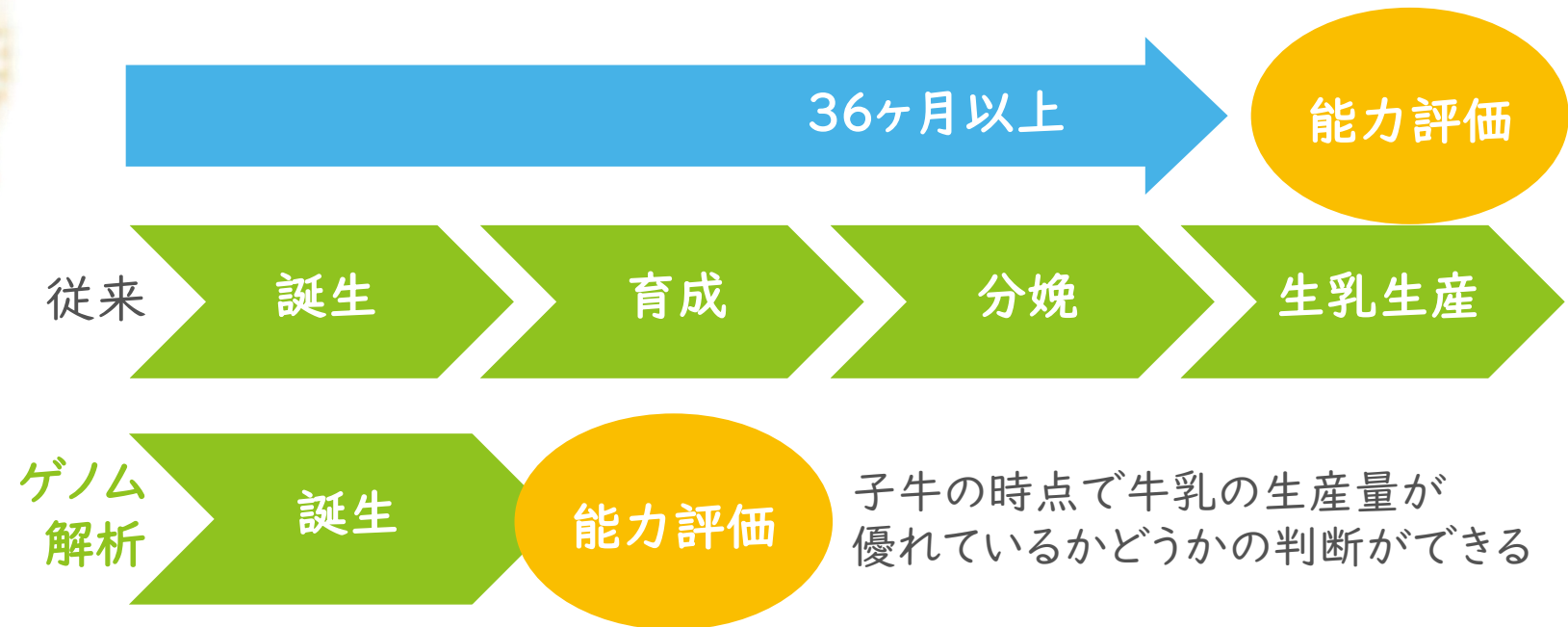
DNAを解析することで、  
メス牛の遺伝的能力を数値化

- ✓ 繁殖能力
- ✓ 乳量・乳質
- ✓ 疾病耐性
- ✓ 体型

### 業務提携



- ゲノム選別により育種改良スピードが飛躍的に向上



# 日本の酪農業に貢献できるサービスを提供

- 酪農経営は遺伝・栄養・環境管理が重要な位置付け ⇒ **トータルコンサルティングサービスの確立**

製品とサービスを組み合わせた  
「コト売り」営業で課題を解決し、  
顧客の経営をサポートしていく

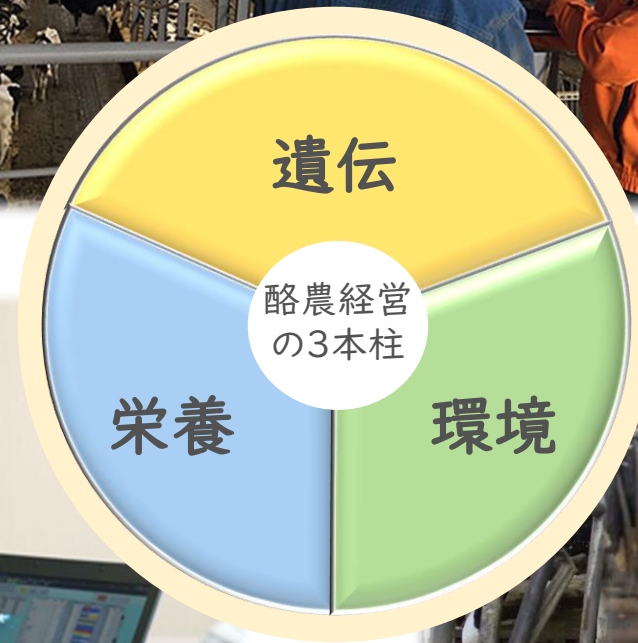
ゲノム解析サービス



※AMMPSは、米国 Provimi North America社の登録商標です。



飼料給餌コンサルティング



農場環境改善コンサルティング

## ■ 天然資源を守る ～低魚粉・無魚粉飼料の開発～

- 世界の水産資源は乱獲により枯渇の危機
- 水産飼料における原料の4割強が天然資源由来の魚粉

魚粉に頼らない「低魚粉・無魚粉飼料」を開発し、  
資源保護や環境負荷低減に貢献していく



水産研究所では様々な試験のもと飼料の研究・開発を行っている

## ■ 低魚粉飼料の販売

- 「摂餌性(食いつき)・飼育成績・疾病リスク」等の課題をクリアし、マダイ用・マス用飼料において低魚粉飼料を開発・販売



## 次なるステップ

### ■ 水産飼料の無魚粉化

⇒ 野外試験は良好、早期上市を目指す



毎日の「いただきます。」のため



**FEED ONE**

おいしさのみなもと

